

# 社会福祉法人麦の芽福祉会 おぎのめ子ども発達支援センターりんく 支援プログラム

## 法人理念

1. 全ライフステージにわたって豊かな生活をおくれる地域づくり
2. ライフスタイルごとに必要な様々な援助サービスが総合的に受けられる在宅福祉づくり
3. 生活や仕事や発達援助の拠点としての、また地域に関かれ、地域に支えられた施設づくり
4. 子ども、仲間、親、職員、ボランティア、そして関係する全ての人々が共に成長できる広い意味での教育システムづくり

## 事業所理念

- ・0歳からの療育の場を保障することをめざします。
- ・科学的な発達観、子ども観にたち、子どもの人格全体の発達を促す療育の実践と理論を創造することを目指します。
- ・保健、医療、福祉、保育、教育、文化的ながいなど、生活のあらゆる面において、子どもとその家族の思いを大切に、関係諸機関との連携、協力関係を密にしつつ、その実現を積極的にめざします。
- ・親たちをはじめ、子どもをとりまくすべての大人たちが子どもたちから学び、共に教え合い、育ち合う場となることをめざします。

## めざす 子ども像

- ・困難に立ち向かい主体的に仲間とともに生活をきりひらいていける子ども
- ・よく食べ、よく動く心もからだも健康な子ども
- ・まわりのものに関心を寄せ、どんな小さなことにも感動できる子ども
- ・自分の発見や要求、気持ちを表現し、仲間も大切にできる子ども

**本人支援** : 子ども自身のもつ願い（発達要求）を探り、生活とあそびの総合的な視点から子ども自身が“素敵な自分”を感じていけるように支援します。

## 健康・生活

- ・一人ひとりの発達にあわせて、食事・排泄・着脱・清潔といった生活に関する日常生活動作の獲得に向けて、子ども自身が必要性を感じ、主体的に取り組めるように配慮や工夫をしながら支援します。そうすることで、準備や片付けといった生活文化への理解（自分の生活をわかり、自分で生活を組み立てていく力）を育てていきます。
- ・日中心も身体も開放し、たっぷりあそぶことを基本にしながら、朝しっかりと目覚め、夜ぐっすり眠り、しっかり出す（排泄する）といった、生活リズムづくりを支援します。
- ・「食卓を囲んで楽しく食べる」ことを大切に、子どもの目の前での調理やクッキング活動、形態の工夫など、「食べてみたい」と子ども自身が思えるような給食実践をしています。嗜好調査も行い、お子さんの実態に合わせて献立への反映はもちろん、給食の提供の仕方も個々にあわせて工夫しています。

## 運動・感覚

- ・生活やあそびの中で「身体を使うことが楽しい！」を子ども自身が実感し、「やってみたい」意欲へつなげる支援をしています。
- ・砂・土・紙・豆・水などの変化する素材を使ったあそびを通して、ダイナミックに身体を使ったあそびや素材が変化する面白さ、感触の変化等、子どもの五感に豊かに働きかけていきます。
- ・お散歩や土山あそびといった自然の中でのあそびや、音楽あそびやわらべうたあそびを通して、自然や音楽、ふれあいの心地よさを感じ、運動発達も促していきます。
- ・製作あそびや様々な活動を通して、様々な道具と出会い、手指をしっかり使いこなす手応えや楽しさを実感できるように支援します。

## 認知・行動

- ・「あ～おもしろかった！またやりたい！」あそびを提供しながら、日替わりではなく繰り返しの中で、子ども自身がわかる喜びやできる手ごたえを感じ、意欲を育てていけるように支援します。
- ・子ども自身が、場面と行動が結びついたり、場面を認識していけるように、具体物や手作り絵本、写真などを使い、わかりやすく伝える工夫をしています。また、発達段階に応じたあそびや絵本の読み聞かせ、わらべうたあそび等を通して、物事の興味や関心を高め、子ども自身の世界が広がるように支援します。
- ・楽しい目的（グループで話し合っ決めてあそびや行事など）に向かって、当日のイメージを膨らませながら準備を考えるといた過程をくぐることや実体験を通して、発達段階に応じて様々な概念[過去や未来への概念（例：カレンダー）や大・小、色、量、数等]を育てていきます。

## 言語 コミュニケーション

- ・言語の発達を促す土台となる、生活リズムづくり、身体づくり、大好きな大人との関係づくり（二項関係）、二項関係を基に好きな遊びや友だちへと広げていく（三項関係）を促していきます。
- ・大好きな人に自分の気持ちを受けとめてもらう経験を重ね、相手に伝えたい気持ちを膨らませていけるように支援します。
- ・子ども一人ひとりの表現（行動・表情・まなざし・発声・発語）から、子どものその時々での行動の背景や気持ちをとらえ、その子の本当のねがいを大人が言語化していくことを繰り返す中で、子ども自身の発信する力を育てていきます。

## 人間関係 社会性

- ・楽しいあそびや大人の共感的なかかわりを通して、子どもとの信頼関係を築き、愛着が促されるようにします。
- ・発達段階に応じたあそびや絵本の読み聞かせ、うたあそび等を通して、子ども自身が自分から発信することや模倣が楽しくなること、友だちと楽しさを共有できるように支援をしています。また、子どもの発信を集団へつなぎ、友だち（集団）の中の自分を感じていけるようにしています。
- ・発達段階に応じて、「〇〇してから△△する」つながりのある活動や、「〇〇だけど、今は△△」と集団の中で調整する力を育てる支援、ルールのあるあそびを行います。
- ・子ども同士が、お互いの気持ちを知り、認め合い、一緒にいることの心地よさを感じていけるようなかかわりや支援（集団の中で素敵な自分を感じる、自分の気持ちを友だちがわかってくれる等）を通じて、他者への信頼と自己肯定感を高めていきます。
- ・園外活動（散歩・買い物体験・公共交通機関を利用した活動など）や文化的取り組み（クリスマスコンサート・田んぼ活動）等を通して、公共のルールや地域の人との関わりを実体験を通して、学んでいけるように取り組んでいます。

## 家族支援

- ・生活記録表の活用
- ・子どもの発達状況や子どもの発達要求への気づきの支援や具体的対応についての相談援助
- ・子育ての困りごとや子育て環境への相談援助（家族・きょうだいも含む）
- ・学習交流会や保護者同士の交流の機会の提供

## 移行支援

- ・子どもの発達状況を育ちの経過を含め、将来を見据えた移行先についての目標設定や支援内容の設定
- ・移行先選択への相談援助や情報提供
- ・移行先との連携（子どもの実態や支援の方向性の共有）
- ・移行支援シートの活用

## 地域支援 連携

- ・併行通園先の情報共有や調整、支援方法や環境調整の相談援助
- ・関係機関との連携（保健センター・医療機関・総合療育センター・児童相談所・子ども家庭センター等）
- ・相談支援事業所との情報共有や支援の連携
- ・防災を含めた地域住民や関係機関との連携
- ・行事や実習の受け入れ等、地域住民との交流

## 職員の質向上

- ・日々の療育実践についての検討（立案・振り返り）やケース会議
- ・事業所内研修（あそび・生活・発達・人権・衛生・安全等）
- ・法人研修や外部研修（県内及び全国の研究団体への参加）
- ・公開療育の実施や、他事業所との学習交流や公開療育への参加

## 主な行事等

◎園外活動（春）／七夕／海遊び／一日保育（年中児）／お泊り保育（年長児）／プレーパーク／フェスタ／おにぎり・さんまパーティー／師走の街体験／クリスマス会／もちつき／節分／遠足／卒園式（親子・家族参加も含む）  
◎人形劇鑑賞・避難訓練・音楽あそび（むぎっこ保育園と合同）、保護者学習交流会

開所時間	8:30～17:30	開所日	月～金(土日に行事あり)
支援時間	9:15～14:15(ただしクラスによって異なる)	給食	あり
送迎	あり / 主に吉野・吉田方面（お気軽にご相談ください）		
その他	同一敷地内に認可保育園あり（むぎっこ保育園）		
自主事業	赤ちゃん教室（生後3か月頃～概ね1歳頃まで）月2回開催		